

令和4年度福島県地域創生総合支援事業（サポート事業）成果発表会



平田村6次化商品開発
— いろいろ野菜を特産品に —

平田村の6次化商品を新たに考える会

西脇 透

stage I 平田村への移住

～「平田村6次化商品を新たに考える会」の設立まで

- 40歳から20年間、東京青果内仲卸業に勤務
- 各地の産地研修での経験（福島県白河市、岩手県一関市、群馬県上野村、神奈川県藤沢市）
- 令和元年11月、還暦を契機に、東京都から福島県への移住を考える
- 令和元年12月16日、平田村に採用（農産物の販売営業職）



-
- 村の特産品を調べる（インゲン、アスパラ、自然薯、ブロッコリー、ハバネロ等）
⇒ 少量のため、優先販売に向かない ⇒ 新たな特産品を作りたい

- 関東圏を中心としたイタリア野菜（西洋野菜）ブームに注目
⇒ 令和2年8月～試験栽培
⇒ 令和3年10月まで、各種類の野菜が育ち、自信を深める
⇒ 地元生産者へのPR ⇒ 栽培協力者が少しずつ増える

村内の栽培協力者
令和3年度 6名
令和4年度 12名

- 小平地区生産者と協定を結び、「平田村6次化商品を新たに考える会」設立



stage2 地元生産者との協力・取り組み

- イタリア野菜栽培勉強会の開催(郡山市の栽培者と年2回)
- 村内勉強会の開催(2~3ヶ月に一回)
- 令和3年11月~令和4年3月 試験栽培
⇒ 冬季間(2月)収穫まで順調に育つことを実証
- 令和4年4月 ~令和5年3月 年間栽培計画の実施

- 令和4年4月~ 毎月2回、学校給食センターへの食材提供
(小学校 268名 、 中学校 133名)

⇒ イタリア野菜の種類を増やし、食材提供を検討中



野菜嫌いの児童が、
野菜を食べてくれる
ようになった！！

stage 3 6次化商品の開発

- 直販できない規格外品を利用した6次化商品の開発へ
- 令和4年8月～ 鏡石町地域おこし協力隊の小柳夫妻（ご主人がシェフ、奥様が広報・デザイン）に商品開発のコラボを依頼
- 第一弾『イタリア野菜のピクルス』を製造（隣接町村の加工施設を利用）
- 令和5年3月まで 季節毎のバリエーションを増やす計画
- 「道の駅ひらた」及び「鏡石まちの駅・かんかてらす」での販売を検討



Stage 4 平田村産いろいろ野菜の展望

- 村内の空き屋を活用し、加工所を併設した農カフェを設置
(栽培者や地元の方が集う場所)
⇒ 野菜のマルシェ開催、イタリア野菜を食べられる場所へ
- 新たな6次化商品の開発
第2弾 『ポタージュスープ』 第3弾 『パスタソース』
- 村の特産品 = 「イタリア野菜」 = 「いろいろ野菜」 をPR
- 「ふるさと納税返礼品」や「イタリア野菜セット」(ネット販売)を推進



ご静聴ありがとうございました。

2022.12.27(火) ラジオ福島「ふくしまチャレンジ通信」で事業が紹介されました！

視聴はこちらから⇒ https://www.rfc.jp/podcast/podcast_program.php?id=32

ラジオ福島HP > ポッドキャスト番組一覧 > ふくしまチャレンジ通信



【最新の放送】 2022.12.27(火)

地域おこし協力隊が挑む平田村の新たな6次化商品開発について

平田村の小平地区では、彩り豊かで栄養価の高い「イタリア野菜」を栽培しているのをご存知でしょうか。

そこで今日は、「地域おこし協力隊が挑む平田村の新たな6次化商品開発」について、福島県県中地方振興局 企画商工部の志波 真英さん、平田村地域おこし協力隊の西脇 透さんにお二人にお話を伺いました。



この放送を聴く 

